

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています



2021年
12月1日発行
No.498

December

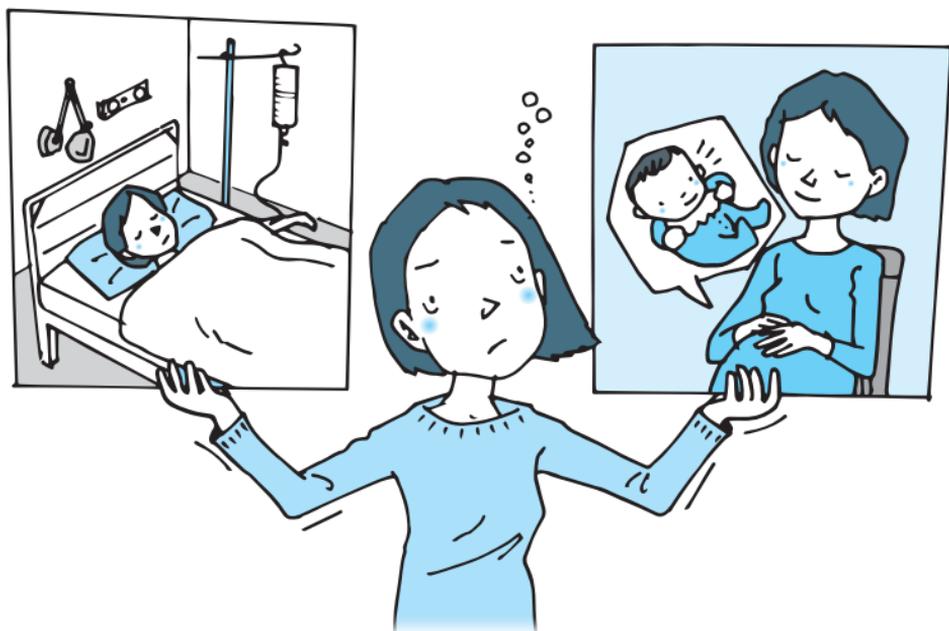
12

今月の色:クリスマス

特集 がんに克つ!②③

がんになっても、 将来子どもが欲しい P-1

- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 リプロダクションセンター P-5
- 診療を支えるスペシャリスト エンブリオロジスト(胚培養士) P-6



病院理念 私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

がんに克つ!

23

がんになっても、将来子どもが欲しい

日本人の2人に1人が一生のうち一度はなるといわれている『がん』。シリーズ「がんに克つ!」では、日本人がかかりやすいがんを中心に、その特徴・最新治療・予防法などを紹介します。

▶ 若くてもがんになることがある

がんは高齢者の病気だと思っていないですか。日本では1年に約2万3千人が、0～39歳でがんになっています。そして、当院では1年間に約100人が、0～39歳でがんを発症して受診されています。



▶ 高齢者のがんと若年者のがんの違い

高齢者のがんは、女性より男性の方が多いですが、若年者のがんでは男女比がおおよそ1対2で、女性に多いことが特徴です。また、高齢者と大きく違うところは、若年者はがんの治療後に子どもをつくる可能性があるということです。

若くしてがんと宣告されると、治療のことや将来のこととで頭がいっぱいになってしまいます。しかし、治療中や治療終了後になると、不妊症に対する不安が悩みの上位にあがってきます。そのため、できればがんを治療する前に、治療後に子どもが欲しいかどうか、子どもをつくる可能性があるかどうかということも考える必要があります。

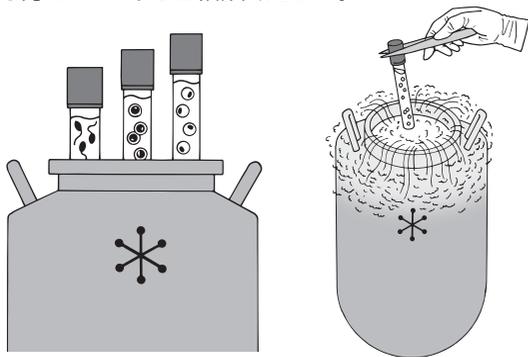


▶ 化学療法や放射線療法で子どもをつくる機能が低下する可能性がある

近年、がん治療は飛躍的な進歩を遂げ、若くしてがんになっても、長年に生存できることが多くなってきています。しかし、化学療法や放射線療法（腹部～骨盤部）は、女性では卵巣、男性では精巣にダメージを与える可能性があり、治療後に生殖機能（子どもをつくる機能）が低下もしくは失われてしまう可能性があります。

▶がん治療の前に生殖機能は温存できる可能性がある

がんを治療する前に、女性であれば卵子、胚(受精卵)または卵巣組織、男性であれば精子を凍結保存することで、将来子どもをつくることのできる可能性を高めることができます。生殖機能の温存を希望される場合は、まずは、がん治療の担当医(主治医)、外来または病棟の看護師など、相談しやすいスタッフにお声掛けください。当院では、がんの治療と生殖機能の温存を同じ施設内で行うことができるため、がん治療の担当医と連携して、迅速な対応ができます。がんの治療が最優先となるため、温存が難しい場合もありますが、気になる方はいつでもご相談ください。



文責:リプロダクションセンター センター長 今井 伸

さらに詳しい情報などを、YouTubeの「聖隷浜松病院チャンネル」で配信しています。ぜひ、ご覧ください。

YouTube 聖隷浜松

検索



インフォメーション

年末年始 診療体制のご案内

12月29日(水)～2022年1月3日(月)は休診いたします。

緊急の場合は救急外来での対応となります。救急受診の場合は、必ず事前に☎053-474-2222(代表)にお電話いただき、ご相談ください。

祝日・休日・時間外診療のお知らせ

当地域では、祝日・休日の日中は休日当番医、夜間は浜松市夜間救急室が対応しています。診療時間等は新聞や市の広報等をご覧ください。

夜間救急室

浜松市中区伝馬町311番地の2 浜松市医師会館1階

TEL 053-455-0099

イベント情報

お気軽にお申し込みください

オンライン開催
参加無料
事前申込制

《第10回》脳卒中市民公開セミナー

くも膜下出血は突然発症する病気です。

今回は、発症から入院生活の様子をミニ劇場でわかりやすく説明します。また最新の治療について講義でお届けします。

▶日 時 …… 12月4日(土) 13:30～14:30

▶問い合わせ… 地域医療連絡室(JUNC)

TEL 053-474-8801(平日9:00～17:00)

※お申し込みなど詳しくはこちら▶



聖隷のクリスマス! ぜひご覧ください

- クリスマスツリー
(B棟1階 吹き抜けロビー)
- クリスマスライトアップ(病院玄関)

▶期間

12月2日(木)～12月26日(日)

▶点灯時間

17:00～21:00



リプロダクションセンター

患者さんのお悩みを専門的な見地から幅広くサポート



当センターには、4つの外来があります。「なかなか妊娠できない」「性交のとき

痛みがある」「がん治療を受けることになったが、妊娠できるか心配」「性別に違和感がある」「仕事も夜の生活も元気がでない」など、人には話づらいお悩みがある方はご相談ください。

① H・ART外来

不妊の原因の割合は、およそ男女半分ずつです。当院には女性不妊の専門医※1が2名、男性不妊の専門医※1が1名おり、ご夫婦が同時に高度な生殖医療を受けることができます。

② がん生殖外来

*特集(P1~3)をご覧ください。

③ 性機能・メンズヘルス外来

男性では勃起や射精の問題、女性では挿入困難や性交時の痛みなど、専門医※2によるカウンセリングや治療を行っています。

④ ジェンダー外来

性別に関する悩み(性同一性障害・性別違和)の相談からホルモン補充療法、性別適合手術後のトラブルまで幅広く対応しています。

※1…一般社団法人日本生殖医学会生殖医療専門医

※2…一般社団法人日本性機能学会専門医

文責:リプロダクションセンター センター長 今井 伸(写真中央)



エンブリオロジスト (胚培養士)

心を入れて生殖医療に携わる専門家

卵子・精子・胚(受精卵)を扱う専門技術者を「エンブリオロジスト(胚培養士)」と呼びます。当院ではエンブリオロジストとして臨床検査技師が業務を担っています。



生殖医療(不妊治療)では、精液検査や精子の調整、さらに女性の体内から取り出した卵子を精子と顕微鏡下で受精させ、受精卵を子宮に戻すまで育てます(体外受精)。無精子症では、医師と共に手術室に入り、精巣内に精子があるかどうかを専用の顕微鏡を使って同時に確認しています。また、がん治療等で生殖機能がなくなる可能性がある場合には、将来の妊娠に備えて精子や卵子・卵巣の保存を行っています。



生殖医療における高度な専門技術を習得できるよう日々研鑽し、患者さんに寄り添いながら心を入れて治療にあたっています。

文責:臨床検査部 村松 正子(写真右から2番目)・直田 健太郎



聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ

紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として5,500円(税込)を別途負担いただいています。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00/祝日を除く)

再診の方へ

予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡ください。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜 9:00～16:45)

産科の受診をお考えの方へ

妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、紹介状は不要です。受診希望日の7日～10日位前までに、下記までご連絡ください。

▶ 産科外来(直通) ☎053-474-3067

(月～金曜 14:00～16:45/祝日を除く)

面会の方へ

現在、面会に制限があります。詳しくはホームページをご確認ください。

面会時間…月～金曜 14:00～20:00、土曜・日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会を遠慮いただいています。
発熱/咳・痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222
発行責任者 院長 岡 俊明